

「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」についての

パブリックコメント（結果公表）

「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」についてのパブリックコメントにつきまして、市民の皆さまからご意見をいただき、ありがとうございました。

お寄せいただきましたご意見と、ご意見に対する本市の考え方を以下のとおり公表します。

意見募集期間	令和2年2月20日（木）～令和2年3月10日（火）
意見提出者数	7人
公表意見数	19件

	ご意見の要旨	枚方市の考え方
1	「人口減少社会における枚方市の目指すべき将来像」に記載されている「子どもたち」の年齢層が不明である。年少人口である0歳～14歳とすれば、就学以降、小・中学校において過ごす時間が長く、学習塾や習い事などで放課後を過ごす児童も多い状態である中、様々な主体による取り組みがどの程度リーチし、将来的な「まちの愛着」につながり、彼らがまちづくりの主体となるか疑問である。概念ではなく、これまでの市内における実例をあげて具体的な目標を設定するべきではないか。	第2章総合戦略「1. 人口減少社会における枚方市の目指すべき将来像」の記載については、あくまで目指すまちのイメージであり、「子どもたち」について具体的な年齢の定義付けを行っているものではありません。 人口減少社会でも持続可能なまちづくりを考えますと、本市の傾向として若年層の転出傾向が見られるもののこれを許容しつつ「枚方市を一度離れても新たなライフステージでいつかまた戻ってきたい」と思ってもらえるようなまちづくりが求められると考えています。 子どもたちが育つ環境は多様であると考えられることから、本市として具体的な目標像を立てることは考えておりませんが、子どものころに枚方市の地域活動や祭りなど様々な活動に関わる経験をすることで本市に愛着を持っていただき、将来的に本市で暮らす選択をしていただきたいと考えております。

<p>2</p>	<p>子育て施策に関して、以下の取り組みが必要だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯に対する第2子以降の補助 ・多胎児出産(双子、三つ子以上)の場合、出産時からの援助(ミルク代、保健婦、ヘルパーなど、生後3か月までは特に厚く援助するのがよい)。 ・病児保育の充実(病児保育実施施設を増やす、定数を増やす、施設の充実) ・保育所による一時預かりができる制度(第2子の里帰り出産の際、幼稚園も含めた4、5歳児の受け入れ体制の充実) ・児童相談員の増員 ・クラブ活動の指導等、専門知識のある人や指導員の配置 ・子どもたちにいい文化(人形劇、映画、演劇、音楽など)に接する機会の増 ・子どもたちにとってゆとりある豊かな環境とするため、教職員の増員。また、テストで追い立てたり、スポーツ大会に強制的に教職員を出席させないなど、ゆとりの内容や時間が必要。 ・地域の学校としての役割が担えるよう考えること(文化の継承や文化の掘り起こし) ・留守家庭児童会室の改築・改修 ・肢体不自由等障害のある児童に対する理学療法士の定期的な指導 	<p>基本目標1「安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える」の各施策目標の実現に向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
<p>3</p>	<p>子育て施策について、以下の取り組みの追加と見直しが必要だと考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子ども医療費助成の18歳までの拡大 ②保育に責任を持てる保育士の給与、定数の改善、正規保育士の増員 ③公的役割を再検討し、公立保育所の民営化の見直しを図る ④ひとり親家庭の医療費助成の改善(所得制限の緩和、食事も助成対象に) ⑤自転車道、歩道の整備 	<p>基本目標1「安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える」の施策目標 2「子どもたちが健やかに育つことができるまち」の実現、及び基本目標3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標 3「安全で快適な交通環境が整うまち」の実現に向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>

4	<p>施策目標「子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち」の(1)に、今後ますます多様化する国際社会に対応するため公立学校としての責務として「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」を追加してはどうか。また、施策目標「子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち」の(3)～(5)のいずれかに、教育委員会や教員が独善的な教育観・授業感に陥らないために、「保護者や地域の人たちも授業を自由に見学できる開かれた公立学校を目指す」を追加してはどうか。</p>	<p>基本目標1「安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える」の施策目標3「子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち」の実現に向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・救急病院に指定されている病院の駐車場は、救急で入った場合、駐車料をとらないようにしてほしい(駐車場の救急枠)。 ・利用料を低額にする、高齢者対象の催しを行うなど、高齢者が利用しやすい生涯学習センターにしていただきたい。 ・杉山手、氷室台、穂谷など、地域的にバスが通っていない所にコミュニティバスや巡回バス等を走らせてほしい。 	<p>基本目標2「市民の健康増進や地域医療の充実を図る」の施策目標1「高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち」及び施策目標4「安心して適切な医療が受けられるまち」の実現、並びに基本目標3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標4「快適で暮らしやすい環境を備えたまち」の実現に向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
6	<p>杉山手、穂谷、氷室台など、バスが通っていない地域にコミュニティバスや巡回バス等を走らせてほしい。また、利用料を低額にする、高齢者対象の催しを開催するなど、高齢者が利用しやすい生涯学習センターにしてほしい。</p>	<p>基本目標2「市民の健康増進や地域医療の充実を図る」の施策目標1「高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち」の実現、及び基本目標3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標4「快適で暮らしやすい環境を備えたまち」に向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
7	<p>高齢者が生きがいを持ち健康に過ごせる施策に欠かせないのは外出支援である。ポイント付与は実績でも不振であり、高齢者が望むものではない。市民個々が自由な意思でサ</p>	<p>基本目標2「市民の健康増進や地域医療の充実を図る」の施策目標1「高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち」の実現、及び基本目標3「産業の活性化と人々の交流・賑わい</p>

	<p>ークルやクラブ、買物、行楽に参加するには、起伏の多い枚方においては、京阪バス路線の撤退などで後退している市内交通網の整備が必要である。</p> <p>廉価で利用できるコミュニティバス、巡回バスを充実させてこそ、高齢者が外出できる機会が増え、健康な生活が維持できる。その事が介護予防に貢献する施策である。</p>	<p>の創出によりまちの魅力を高める」の施策目標 4「快適で暮らしやすい環境を備えたまち」に向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
8	<p>高齢化社会を迎え、一人暮らしも多くなる。外出機会が減っていく中、自分の趣味や生きがいを求めて前向きにがんばっている人も多い。反面、バスの減便や免許返納、バスカードの廃止等、交通環境は後退している現状で、住みにくい枚方になっている。産業や文化、安全が軽視され、効率第一の枚方でいいのか。</p>	<p>基本目標 2「市民の健康増進や地域医療の充実を図る」の施策目標 1「高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち」の実現、及び基本目標 3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標 4「快適で暮らしやすい環境を備えたまち」に向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
9	<p>高齢者施策について、以下の取り組みの追加が必要だと考える。</p> <p>①介護保険料の低所得者への軽減</p> <p>②高齢者の外出支援として、バスの運賃の公的助成を制度化する(高齢者の健康、まちの賑わいに効果)。</p> <p>③高齢者の自動車免許証の返上を進める。そのため必要ところにバス路線やコミュニティバス等を走らせる。</p>	<p>基本目標 2「市民の健康増進や地域医療の充実を図る」の施策目標 1「高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち」の実現、及び基本目標 3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標 4「快適で暮らしやすい環境を備えたまち」の実現に向けて、にに向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
10	<p>以下の取り組みの追加が必要だと考える。</p> <p>①市民の誰もが外出しやすい環境づくりをする。そのために必要なバス路線の確保など、公共交通の充実を図る。</p> <p>②高齢者が元気になるよう、交通運賃の市助成を行って外出を支援する。高齢者が外出すればまちに賑わいが生まれ、経済的な効果にもつながる。</p> <p>また、意見として、枚方市駅周辺の高層ビル</p>	<p>基本目標 2「市民の健康増進や地域医療の充実を図る」の施策目標 1「高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち」の実現、並びに基本目標 3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標 4「快適で暮らしやすい環境を備えたまち」及び施策目標 5「人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち」の実現に向けて、いただきましたご意見につきましては</p>

	<p>を含む再開発事業を、市民や周辺商店街業者の意見を丁寧に聴取し、納得できる開発を再検討してほしい。再開発の効果への不安とともに市の財政負担も大きく、市民の元気、経済の活力、まちの賑わいを損なうことを危惧する。</p>	<p>は所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
11	<p>健康施策について、以下の取り組みの追加が必要だと考える。</p> <p>①がん検診の啓蒙強化と大幅な公的助成 ②国民健康保険料の低所得者への軽減</p>	<p>基本目標 2「市民の健康増進や地域医療の充実を図る」の施策目標2「誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち」の実現に向けて、いただきましたご意見につきましてはは所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
12	<p>施策目標「地域産業が活発に展開されるまち」の(3)について、5年前までは市内の創業支援プラットフォームはインキュベートルームや地域活性化支援センター程度だったと思うが、ここ数年、枚方市内にも民間事業者によるコワーキングスペースが誕生している。この点を危機と捉えず、需要の発掘や市内における多様なサービスの提供と考え、KPI の数値にも反映できるように、具体的な取り組みとして「市内の類似事業を行う民間事業者との連携による創業支援、スタートアップ事業者支援の磨き上げ」といった項目を追加し、「ゼロイチ ヒラカタ」(ゼロからイチを生み出す 枚方)というようなブランディングを、垣根を超えて目指していただきたい。</p>	<p>基本目標 3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力高める」の施策目標 1「地域産業が活発に展開されるまち」の実現に向けて、いただきましたご意見につきましてはは所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
13	<p>以下の取り組みが必要だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部では、バス停までの距離が遠いところが多々ある。そんな地域(杉山手、長尾台、氷室台、穂谷)から商店街や駅まで巡回バスやコミュニティバスを走らせてほしい(免許を返納すると移動しにくい)。 ・就職するために、様々な技術を身につけるための専門学校に対し、授業料を低額にするなどの支援を行い、就労をあっせんする。 ・歩道の整備(拡張)。特に、長尾口から長尾 	<p>基本目標 3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力高める」の施策目標 2「いきいきと働くことのできるまち」、施策目標3「安全で快適な交通環境が整うまち」及び施策目標 4「快適で暮らしやすい環境を備えたまち」の実現に向けて、いただきましたご意見につきましてはは所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>

	<p>谷町間。</p> <p>・枚方市全体の自転車道の整備</p>	
14	<p>施策目標「安全で快適な交通環境が整うまち」の(1)について、「樟葉駅前ロータリーの渋滞解消に向けた整備計画の策定」に、ハード面での違法駐車対策も加えてほしい。</p>	<p>基本目標 3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標 3「安全で快適な交通環境が整うまち」の実現に向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
15	<p>施策目標「人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち」の(2)における具体的な取り組みとして、「雨天時や猛暑日においてもイベント開催可能となる、公園の半外部空間化の推進」を追加していただきたい。当方、岡本町公園・岡東中央公園でイベントを実施したが、雨天時や猛暑時の過酷なオペレーションを経験したことがある。半外部空間となることで、天候不良時のイベント開催のオペレーション負担が減るため、さらに多様な事業者による、さらなる多様なイベント開催を誘引できると確信している。</p>	<p>基本目標 3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標 5「人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち」の実現に向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
16	<p>施策目標「地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち」の(1)に、「文化財も貴重な観光資源ととらえ、文化財担当部署の適切な監督のもと、市長部局や民間事業者、市民団体などと協働して教育的活用や観光的活用を図る」を追加してはどうか。</p>	<p>基本目標 3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標 6「地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち」の実現に向けて、いただきましたご意見につきましては所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
17	<p>施策目標「地域産業が活発に展開されるまち」の(2)における KPI は、ホームページへのアクセス数で適切と言えるのか。具体的な取り組みは、地域活性化支援センターにおける事業者セミナーの開催や専門相談員による経営相談事業の実施、「枚方市小企業事業資金融資制度」利用者への信用保証料の補</p>	<p>ご意見をいただいた KPI については、より適切な KPI の検討を進める中で、「地域活性化支援センターにおける経営相談の件数」に変更いたしました。そのほかにも、効果的な事務の執行、評価、改善につなげていく観点から、KPI の追加、変更を行ったところです。</p>

	<p>給、ホームページでの地域産業の情報発信とあげられている。そうであれば、ホームページの単純な訪問件数ではなく、「ホームページから申し込みがあった経営相談実施数」「事業セミナーへのホームページへの申し込み数」「ホームページを通じた、枚方市内企業や事業への問い合わせ数」など、コンバージョン率で考えるべきではないか。経営相談員の方々の尽力がより反映される KPI を用いるべきではないか。</p>	<p>今後も適切なKPIの設定の検討、検証を進め、必要に応じてKPIの追加、変更を行っていく考えです。</p>
18	<p>施策目標「いきいきと働くことのできるまち」について、ハローワークが毎月発表している「求人・求職バランスシート」などの統計情報を KPI に設定しないのは「外部環境による影響」を考慮しないためか。また、令和元年12月の「求人・求職バランスシート」では、事務職や清掃などの職種は求職者が多くありながら、技術・開発職やサービス業といった特殊なスキルが求められる職種は求人数の方が上回っている。具体的取り組みとして、求職者へのスキルアップによる求職マッチングに加えて、市内企業の従業員へのスキルアップ支援を同時に行うことで、「いきいきと働くことのできるまち」の目標に到達できるのではないか。2019年には転職者数が過去最高となり、現在雇用中の方も、将来的には転職し求職者になる可能性が高いことから、市内企業等の従業員へのスキルアップ支援は、潜在的かつ将来的な求職者への支援にもつながると思う。</p>	<p>施策目標に対する KPI の設定については、第1期総合戦略のものを継続して設定しています。ハローワークが発表している統計情報を KPI として採用しておりませんのは、外部環境による影響を考慮したためではございません。より有効と考えられる場合は取り入れていく方針です。いただきましたご意見を参考にしながら、第2期総合戦略策定後においても適切なKPIの設定の検討、検証を進めていく考えです。</p> <p>また、企業の従業員へのスキルアップ支援のご意見に関しましては、基本目標3「産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める」の施策目標2「いきいきと働くことのできるまち」の実現に向けて、所管部署と共有し、まちの魅力向上に向けた取り組みの参考とさせていただきます。</p>
19	<p>施策目標「地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち」の(1)について、KPI と具体的な取り組みが紐付いていない点が見受けられる。市内の各地域に地域資源が点在しているが、観光ステーションが位置する南西部地域の資源といえば、市街地に加えて枚方宿、淀川舟運となっており、南西部の地域資源が優</p>	<p>ひらかた観光ステーションでは、枚方市全体の観光・物産・イベント等の地域資源について、情報提供等を行っているところですが、効果的な事務の執行、評価、改善につなげていく観点から、策定後におい</p>

<p>先活用されているのではないかと疑念も拭えない。観光ステーションが特定の地域資源に「選択と集中」を行い、KPI を達成できるのだろうか。そうであれば、具体的な取り組みに特定の地域資源への「選択と集中」という言葉を追記した方がよいと思う。そうではなく、市内に点在する地域資源を活かすのであれば、「市内に点在する」といった文言を追加し、それに紐づく KPI を設定するか、観光ステーションが市内全域をカバーする取り組みを追加していただきたい。</p>	<p>でも適切なKPIの設定の検討、検証を進め、必要に応じてKPIの追加、変更を行っていく考えです。</p>
---	--